

生涯学習推進基本指針進捗状況

(1)学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供

①市民が自発的に学習できる機会の提供

主な事務事業	概要	事業内容		指標及びその達成状況(R6)	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
生涯学習市民センター活動委員会事業 【文化生涯学習課】	市内各生涯学習市民センターで市民と行政が協働(活動委員会)で生涯学習事業を実施	サンプラザ生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 9事業 853人 ②さだ 8事業 295人 ③御殿山 10事業 284人 ④牧野 8事業 282人 ⑤津田 11事業 1,215人 ⑥菅原 17事業 6,499人 ⑦南部 17事業 5,896人	生涯学習交流センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 8事業 399人 ②さだ 8事業 245人 ③御殿山 10事業 273人 ④牧野 7事業 225人 ⑤津田 11事業 1,547人 ⑥菅原 16事業 9,175人 ⑦南部 16事業 6,518人	◆活動委員会事業の参加者延べ人数 目標:15,000人 実績:18,432人 ◆事業への参加率【参加者人数/募集人数×100】 目標:80% 実績:94.9%	現状維持	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。	
ひらかた市民大学開催事業 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学との連携・協力により、特色ある各大学の専門知識等を生かして学習できる講座を市民に提供	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施令和5年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 119人 ②大阪歯科大学 50人 ③関西外国語大学 62人 ④大阪工業大学 26人 ⑤摂南大学 29人	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施令和6年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 105人 ②大阪歯科大学 42人 ③関西外国語大学 17人 ④大阪工業大学 34人 ⑤摂南大学 33人	◆「ひらかた市民大学」の参加者数 目標:200人 実績:269人 ◆満足度【「満足」「やや満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:98%	現状維持	より多くの市民が参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。	
生涯学習事業 【文化生涯学習課】	他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施。	◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①生涯学習講座「もっと知りたい!枚方市の取り組み」 1講座 22人 ②マナビスト講座 3講座 81人 ③初級人形劇講習会 1講座 10人 ④サンサン人形劇場 10回 656人 ⑤南部生涯学習市民センター主催講座 1講座 2回 37人 ⑥朝鮮語教室 40回(年間) 参加延べ人数 955人 ⑦なんでもどこでも出前塾 147回 3658人	◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①マナビスト講座 2講座 41人 ②初級人形劇講習会 1講座 14回 4人 ③人形劇中級講座 1回 20人 ④サンサン人形劇場 10回 661人 ⑤南部生涯学習市民センター主催講座 1講座 22人 ⑥朝鮮語教室 40回(年間) 参加延べ人数 714人 ⑦なんでもどこでも出前塾 119回 2325人	◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人 ◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	

主な事務事業	概要	事業内容		指標及びその達成状況(R6)	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
文化芸術事業 【文化生涯学習課】	枚方市文化芸術振興計画に基づき、具体的な事業を実施する。 市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センター指定管理者との共催又は委託による事業のほか、直営で小中学生を対象とした将棋教室等を開催。 また、文化芸術アドバイザーの提案事業や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。	◆枚方市文化芸術アドバイザー事業 【平田オリザ氏】 市立小学校6年生を対象とするコミュニケーション授業(13小学校) 28クラス ◆ひらかた将棋イベント 令和5年8月5日開催 参加者数 96人 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校28校にアーティストバンク登録アーティストを派遣 ◆若手芸術家支援事業 アーツプラウトパフォーマンスアートとして4公演を開催 「田邊優子 エレクトーンリサイタル」 参加者 307人 「duo futabaクラリネット&ピアノコンサート」 参加者 305人 「三村詩音 ピアノリサイタル」 参加者 307人 「藤間晴也 日本舞踊への誘い」 参加者 198人 ◆ひらかたジュニアプラスバンド事業 練習 10日間 令和6年1月21日開催 入場者 605人	◆枚方市文化芸術アドバイザー事業 【平田オリザ氏】 市立小学校6年生を対象とするコミュニケーション授業(15小学校) 34クラス ◆ひらかた将棋イベント 令和6年9月14日開催 参加者数 49人 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校26校にアーティストバンク登録アーティストを派遣 ◆若手芸術家支援事業 アーツプラウトパフォーマンスアートとして4公演を開催 「Duo Wiegeヴァイオリン&ピアノコンサート」 参加者 304人 「堀恰子ピアノリサイタル」 参加者 304人 「木の音felice マリンバとピアノが誘う四季の旅」 参加者 303人 「epiilas ソプラノ&ピアノコンサート」 参加者 303人 ◆ひらかたジュニアプラスバンド事業 練習 11日間 令和7年2月2日開催 入場者 622人	◆対象事業の参加者数 目標:7,500人 実績:7,888人 ◆参加者の満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:96.3%	現状維持	総合文化芸術センターの指定管理者が2期目を迎えることを踏まえ、さらなる連携を図り、事業を実施していく。	
市民企画イベント促進事業 【文化生涯学習課】	市民が企画する、広く市民を対象とする文化芸術に係る事業を実施しようとする団体に対して支援を実施	【実施実績】 ①申請団体数 5団体 ②支援団体数 4団体	【実施実績】 ①申請団体数 4団体 ②支援団体数 4団体	◆支援決定団体が実施した事業数 目標:3 実績:4 ◆各支援事業に対する入場者率【支援決定団体が実施する各事業の目標入場数に対する平均入場者率】 目標:70% 実績:78%	現状維持	応募団体が増加傾向にあることから、これまでの取り組みを継続する。	
農業ふれあい体験事業 【農業振興課】	市内の小中学生を対象に農業者の指導のもと食農体験学習を実施	◆小学生による農作業や試食等の体験 10小学校(参加児童710人)	◆小学生による農作業や試食等の体験 9小学校(参加児童628人)	◆食農体験学習を実施した小学校数 目標:9 実績:9	現状維持	農業者の高齢化や開発による農地の減少等によって現在の事業数の確保が難しい状況となってきた。新たに協力を募るなど、現状と同等で開催できるように農業委員会や関係機関と連携して農業者に働きかけていく。	
介護予防普及啓発事業 【健康づくり課】	介護予防に資する文化的活動(趣味活動)を実践するグループの活動支援体制の構築を図る(令和4・5年度の2年間実施)	◆PFS(成果連動型民間委託契約方式)の実施 介護予防事業「SPRINGひらかた」の実施: ・「気づきの場」と「学びの場」の開催によるグループの組成及び「活動の場」による自主的なグループ運営を支援 ・6か月以上活動継続者(実人数)145人	令和4年度及び5年度にPFS(成果連動型民間契約方式)により介護予防事業「SPRINGひらかた」で組成された自主的なグループの運営を支援した。 ・自主的なグループの数 19グループ	—	終了	令和6年度で運営の支援を終了した。	

主な事務事業	事業内容				指標及びその達成状況(R6)	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R5年度	R6年度					
枚方公園青少年センター青年文化事業 【子ども青少年政策課】	青少年の文化活動の支援を図るべく、学習事業として青少年講座フリーゼミナール、夏休みチャレンジ教室などの青少年教室、文化事業として枚方市青少年少女合唱団、枚方公園ユーススクエア(サンサン人形劇)などを実施	◆主な青年文化事業 開催回数及び参加者数 ①枚方公園ユーススクエア 1回 89人 ②青年祭でのバンドライブ 1回 147人 ③枚方市青少年少女合唱団による定期発表会及びイベント出演 6回 団員40人(内訳 小学生17人、中学生9人、高校14人) ④照明講習会 2回 9人、音響講習会 2回 15人 ⑤1Dayフェスティバル 575人	◆主な青年文化事業 開催回数及び参加者数 ①枚方公園ユーススクエア 1回 102人 ②青年祭でのバンドライブ 1回 305人 ③枚方市青少年少女合唱団による定期発表会及びイベント出演 5回 団員53人(内訳 小学生26人、中学生12人、高校15人) ④照明講習会、音響講習会は台風のため中止 ⑤1Dayフェスティバル 588人	◆参加者による事業の満足【参加者アンケートで「楽しかった」「おもしろかった」等の回答者数/アンケート集計数×100】 目標:9 実績:9	現状維持	各事業を継続する		
環境教育推進事業 【環境政策課】	環境教育出前講座を開催するとともに環境白書、環境副読本の発行・配布による環境情報の発信などにより、市民一人ひとりの年齢や社会的役割に応じた多様な環境教育の機会を提供	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 43回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計42園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 49回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計45園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出方法:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】 目標:100 実績:100	現状維持	エコライフつうしんぼについては、申込人数に対する提出人数が減少しているため、提出率が上がるよう試みてゆく。		
文化財活用事業 【文化財課】	市民の文化財に対する認識を深め、文化財保護意識の高揚を図るため、文化財に関する各種催しを実施	◆主な文化財活用事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①古文書講座 入門講座 5回 221人 ②文化財報告会「百済寺関連イベント」 53人 ③ジュニア文化財学級「やよいのハテナ?～やよいよとこよいくらし?～」 6人 ④古文書講座 中級講座 5回 219人 ⑤くらわんか・鋳物ツーリズム2022 寿ダイカスト工業(株) 19人 ⑥くらわんか・鋳物ツーリズム2022 コマツ枚方工場 20人 ⑦市民歴史講座・市民歴史ウォーク「百済寺跡と周辺をぶらり歴史ウォーク」 19人 ⑧くらわんか・鋳物ツーリズム2022 クボタ枚方製造所 22人 ⑨文化財防火デーに伴う消防訓練「光善寺(出口御坊跡)」 185人 ⑩市民歴史講座「寺内町の成立と変遷」-戦国時代大阪平野の経済発展とのかかわり- 95人 ⑪市民歴史講座「枚方寺内町の立地について」 95人 ⑫市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」 8人 ⑬考古学講座「古代の瓦にふれてみよう」 9人 ⑭市民歴史講座「弥生時代の枚方」 66人	①市民歴史講座「行基と古代の枚方」 124人 ②発掘調査報告会・市民歴史講座「茨田堤と枚方の古墳時代」 144人 ③百済寺跡復元築地塀完成記念式典 63人 ④枚方まつりで特別史跡百済寺跡の創建時のAR映像の紹介 1026人 ⑤文化財防火デーに伴う消防訓練「禁野車塚古墳」 83人 ⑥広域リレー講座「ふらり北河内2024「歩いてみよう! 交野ヶ原」 39人 ⑦くらわんか・鋳物ツーリズム2024 コマツ枚方工場 19人 ⑧くらわんか・鋳物ツーリズム2024 寿ダイカスト工業(株) 12人 ⑨くらわんか・鋳物ツーリズム2024 クボタ枚方製造所 14人 ⑩古文書講座 入門講座 204人 ⑪古文書講座 中級講座 217人	◆受講者アンケートで「満足」と回答した参加者の割合【受講者アンケートで「満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】 目標:90% 実績:82.8%	拡充	きらら展示ルームや本庁舎での遺物展示、発掘調査報告会・市民歴史講座の開催などの従来の取り組みに加え、大阪工業大学との連携により、鍵屋資料館で三十石船などが行き交った江戸時代の淀川の風景を体験できるAR映像の製作を進める。また、受講者アンケートの満足度が低い講座については、スピーカーの音量の調整など、環境の改善を行い、評価の向上に努める。その他、大阪観光局及び観光交流課と連携し、百済寺跡を活用したインバウンド向けツアーの造成に取り組むほか、楠葉台場跡については、大砲のモニュメント設置に向けた協議・準備を行う。		

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える

②現代的・社会的課題に関する学習機会の充実

主な事務事業	事業内容				今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)		指標			
		R5年度	R6年度				
人権啓発事業 【人権政策課】	「枚方市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、人権週間事業や各方面で活躍している人の体験や生き方から人権問題を学ぶ「連続講座『生きること』」などの各種講演会の開催、情報提供、冊子作成を実施	◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 ②連続講座「生きること」(3回) 144人 ③人権文化セミナー (1回) 93人 ④人権週間事業 (1回) 292人 ⑤北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 DVD「めぐみ」上映 42人 「拉致問題を考えるパネル展」 パネル展示のため参加者数不明	◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 ②連続講座「生きること」(4回) 205人 ③人権文化セミナー (1回) 84人 ④人権週間事業 (1回) 76人 ⑤北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 DVD「めぐみ」上映 20人 「拉致問題を考えるパネル展」 オープンスペースで自由観覧、参加者カウントなし ⑥街頭啓発活動(2回) 52人 ⑦人権・同和・平和視聴覚教材貸出(2件) 151人	◆人権啓発に関する各種イベントへの延べ参加人数 目標:400人 実績:588人 ◆人権啓発事業【人権文化セミナー、人権週間事業】のアンケート結果における「とても良かった」及び「良かった」の割合【算出式:「とても良かった」及び「良かった」と回答した人数/アンケート回答数×100】 目標:95% 実績:95%	現状維持	インターネット上の誹謗中傷や性的マイノリティの人権など、人権問題が多様化複雑化する中で、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢が伝わる啓発事業を、枚方市権まちづくり協会と連携するなど引き続き進めていく。	
DV防止事業 【人権政策課】	DV防止啓発講座やDV被害者支援研修を開催 DV被害者支援体制の充実を図るため専門相談窓口として、枚方市配偶者暴力相談センター「ひらかたDV相談室」を開設	◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①DV被害から回復するための教育プログラム(講座)など 7回 29人 ②DV予防教育プログラム 2,174人 ・10小学校24学級の4年生 653人 ・9中学校45クラス 1,521人 ③教職員研修 226人(10小学校の教職員)	◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①DV被害から回復するための教育プログラム(講座)など 7回 23人 ②DV予防教育プログラム 1,962人 ・9小学校23学級の4年生 627人 ・8中学校37クラス 1,335人 ③教職員研修 212人(9小学校の教職員)	◆DV予防教育プログラム参加児童数(小学生) 目標:620人 実績:627人 ◆「暴力は受ける側にも問題や原因があると思う」と答える中学生の割合 目標:55% 実績:54%	現状維持	DV防止に向けては、子ども達が互いの意見を聞きながら、主体的に考える現行手法が効果的であることから、引き続き、教育委員会と連携して取り組む。	
男女共同参画啓発事業 【人権政策課】	男女共同参画の推進をめざし、各種啓発講座等や、市民団体参加の実行委員会形式で「ウィル・フェスタ」を開催。また、男女共同参画を目指す情報誌「モアタイム」「男女共生フロアだより」を発行 市民の自主学習や団体活動の支援及び相互の連携、交流を支援	◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会 (動画配信及び動画上映会) 164人 ②啓発講座等 (動画配信含む) 8回 380人	◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会 69人 ②啓発講座等 17回 411人	◆講座等の参加者数 目標:720人 実績:722人 ◆イベントに参加し、男女共同参画の理解が深まったと答えた人の割合 目標:95% 実績:96% ◆男女共生フロア・ウィル登録団体と企画・実施した事業の参加者数 目標:20人 実績:17人 ◆イベントに参加し、今後も男女共生フロア・ウィルの事業への参加や相談・図書等の利用をしたいと答えた人の割合 目標:85% 実績:0%	現状維持	男女共生フロア・ウィル登録団体と登録更新時にミーティングを行い、活動の方向性や活動ルールの移転について情報を共有した。夏休み期間中には、ウィルの周知を図るため、啓発イベント「ウィルdeクラブ」を2団体との協働で実施した。協働での活動を契機に団体内で男女共同参画についての理解を深めることができた。また、市民に向けたウィルの周知を図るとともに、市民に対する啓発講座を実施し、講座参加者の増加に取り組んだ。	
平和に関する啓発事業 【人権政策課】	・市民への日本国憲法の理念の定着や平和意識の醸成のため啓発事業を実施 ・非核平和都市宣言の啓発と、核兵器の廃絶を求め、平和な社会を実現するための啓発 ・「枚方市平和の日」のある3月を平和月間と位置付け、各種の平和に関する取り組みを実施	◆主な平和に関する啓発事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい 参加者数 203人 ②ひらかた平和フォーラム 参加者数 654人 ③平和の燈火(あかり)(1回) 参加者数 約1,000人 プレ事業 平和の絵の制作 参加者数70人 ④夏季平和事業・「戦争日記～鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々～」ミニパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 ⑤夏季平和事業・平和資料室特別展 「戦争日記～鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々～」パネル展 参加者数 647人 ⑥夏季平和事業・平和ライブラリーコンサート夏(1回) 参加者数 105人 ⑦妙見山煙突見学会(2回) 参加者数 394人 ⑧市内の戦争遺跡バスツアー(1回) 参加者数 19人 ⑨禁野火薬庫のミニパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明	◆主な平和に関する啓発事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい 参加者数 195人 ②ひらかた平和フォーラム 参加者数 322人 ③平和の燈火(あかり)(1回) 参加者数 約1,100人 プレ事業 平和のちぎり絵の制作 参加者数 27人 ④夏季平和事業・平和資料室特別展「写真家 長倉洋海 小さなおもたち」パネル展 参加者数 415人 ⑤夏季平和事業・平和資料室特別展 特別上映会&トーク「フォトドキュメンタリー 鉛筆と統一長倉洋海の眸(め)」参加者数 77人 ⑥夏季平和事業・平和ライブラリーコンサート夏(1回) 参加者数 108人 ⑦妙見山煙突見学会(2回) 参加者数 400人 ⑧市内の戦争遺跡ウォーキングツアー(1回) 参加者数 21人 ⑨禁野火薬庫大爆発パネル展 オープンスペースで自由観覧、参加者カウントなし	◆平和に関する啓発イベントへの延べ参加人数 目標:3,000人 実績:2,665人 ◆平和啓発事業のアンケート結果における「大変満足した」及び「ある程度満足した」の割合【算出式:「大変満足した」及び「ある程度満足した」と回答した人数/アンケート回答数×100】 目標:95% 実績:92%	現状維持	2025年が終戦80年の節目に当たるため、例年に加え、若い世代とともに「戦争の悲惨さと平和の尊さ」を考慮する事業展開を図る。また、事業の趣旨と集客力の双方に視点を置いた企画や関係部局との連携により、より効果的な啓発を行う。	

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
地域防災推進員育成事業 【危機管理政策課】	各校区自主防災組織の選出者と一般公募による参加者を対象に防災に関する知識と技能を習得するための外部講師による座学、消防吏員の指導による救出・救助用資機材・消火器の取扱い方法などの実技を行う地域防災推進員育成研修会及び地域防災専門研修を開催	◆地域防災推進員育成研修会・地域防災専門研修 ①開催日:令和5年11月18日、12月2日 ②内容:11月18日→地域防災推進員育成研修会(基礎研修) 12月2日→地域防災専門研修(応用研修) ③参加人数:11月18日→26人、12月2日→24人	◆地域防災推進員育成研修会・地域防災専門研修 ①開催日:令和6年11月30日、12月14日 ②内容:11月30日→地域防災推進員育成研修会(基礎研修) 12月14日→地域防災専門研修(応用研修) ③受講者数:11月30日→25人、12月14日→22人(いずれも新規修了者数(再受講者を除いた人数))	◆地域防災推進員育成研修会の修了者数 目標:50人 実績:25人 ◆地域防災推進員育成研修会累計修了者数 目標:930人 実績:905人	現状維持	地域の防災対策の充実化に繋げていくため、地域防災推進員育成研修会及び地域防災専門研修を引き続き実施していく。また、女性視点の避難所運営やLGBTQ等、多様な被災者への対応を見据え、研修内容の見直し等に取り組み、更なる内容の充実化に努めるとともに、例年受講者の推薦を依頼している各校区に対し、積極的な受講者の選出を呼びかけていく。	
消費生活センター機能拡充事業 【危機管理政策課】	消費者行政・推進事業補助金を活用し、消費生活センター機能の充実及び消費者行政の啓発充実を図る事業を実施	【事業実績】 ①教育機関への消費者教育支援(市内小中学校の児童・生徒、教職員及び保護者への研修 計22,249人) ※全児童・生徒等が受講できるよう、令和3年度より動画配信方式に改めて実施 ②消費生活相談員への研修支援 ③見守り活動物品「メッシュポケットポーチ」、啓発冊子「契約とお金のルール」の作成 ④消費者講演会の実施	【事業実績】 ①消費生活相談員への研修支援 ②「訪問勧誘お断りステッカー」、「消費者ホットライン188」チラシ、オリジナルティッシュの作成	◆相談者の満足度(アンケートにより満足であったと回答した割合)【算出式:相談結果への満足度に関するアンケートで「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:100% 実績:84.1%	現状維持	複雑化・多様化する相談に適切かつ迅速に対応するため、引き続き研修の機会を確保し、相談員の知識の習得に努める。	
生涯学習事業(朝鮮語教室運営事業) 【文化生涯学習課】	ハングルの学習を通じて、隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流を推進	【開催実績】 ①参加延べ人数 955人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)	【開催実績】 ①参加延べ人数 714人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター/生涯学習交流センター ③開催回数 40回(年間)	◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
自殺予防対策事業 【保健医療課】	自殺予防に係る情報提供と啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆ゲートキーパー養成研修の実施 職員向け研修1回、市民向け研修1回実施。 ◆心のサポーター養成研修 オンライン2回、対面1回実施。 ◆自殺予防啓発(デジタルサイネージ) 場所:京阪電車 枚方市駅構内 実施回数:2回 ◆自殺予防啓発リーフレットの配布 配布先:健康優良企業 実施回数:1回 ◆広報ひらかたへの啓発記事掲載 実施回数:2回(9月・3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ゲートキーパー養成研修の実施 職員向け研修2回、市民向け研修1回実施。 ◆心のサポーター養成研修 オンライン1回、対面1回実施。 ◆自殺予防啓発(デジタルサイネージ) 場所:京阪電車 枚方市駅構内 実施回数:2回 ◆自殺予防啓発リーフレット及びカードの作成・配布 実施回数:1回 ◆広報ひらかたやホームページ・SNS等への啓発・記事掲載 実施回数:2回(9月・3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ゲートキーパー研修受講後アンケートにて「理解できた」と回答した人数/ゲートキーパー養成研修受講者数×100 目標:75% 実績:95% ◆心のサポーター認定者数(総数) 目標:200人 実績:218人 	現状維持	引き続き相談窓口の周知啓発を工夫していく。ゲートキーパー養成研修については、目標値に対する指標の達成度を上回っており、参加者の満足度、理解度も高かった。引き続き、研修内容や周知方法、開催方法等工夫しながら事業を継続実施していく。心のサポーター養成研修については、令和6年度より対面開催を市民向けに初めて実施した(令和5年度まではオンライン開催のみ)。参加者数は目標値には達成していないが、対面開催することにより、1回あたりの参加者数も増大しており、事業への関心が高いこともうかがえる。開催方法を工夫しながら取り組みを継続していく。	
精神保健福祉事業 【保健医療課】	精神障害者の早期治療、社会復帰や自立を促進するため、精神科医等によるこころの健康相談を行うとともに、講演会の開催等精神疾患に関する正しい知識を普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会(1回実施) ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ◆こころの健康相談(精神科医) 実施回数:78回(年間) 場所:保健所等 ◆こころの健康相談会 実施回数:1回(3/17日曜開催) 場所:保健所 	<ul style="list-style-type: none"> ◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会(3回実施) ②大精神市民講演会(1回実施) ③精神保健家族講演会(1回実施) ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ◆こころの健康相談(精神科医) 実施回数:85回(年間) 場所:保健所等 ◆こころの健康相談会 実施回数:2回(9/3、9/26夜間開催、3/6、3/12夜間開催) 場所:保健所 ◆こころの健康増進部会研修会(1回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆こころの健康増進部会研修会終了後アンケートにて「良かった」と回答した人数/研修会参加者数×100 目標:80% 実績:79% 	現状維持	引き続き講演会や研修会等実施しながら、相談支援を実施するための体制づくり(医療機関・関係機関等との連携)を行ったり、精神障害者等への必要な支援ができるよう、精神保健に関する普及啓発及び相談窓口の周知を行う。	
ハンセン病問題解決に係る啓発事業 【健康福祉政策課】	ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会の開催、ちらし・リーフレット等の配布によるハンセン病問題に関する啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆「ハンセン病を正しく理解しましょう」をテーマにホームページで周知・啓発を実施 ①実施期間 2月9日～3月31日 ②閲覧数 544人 ◆枚方市健康・医療・福祉フェスティバルでの啓発を実施(参加延べ人数 1,096人) ①DVD上映「地域で生きる」 ②リーフレット配布「ハンセン病の向こう側」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市健康・医療・福祉フェスティバルでの啓発を実施(参加延べ人数 388人) ・DVD上映「地域で生きる」 ・リーフレット配布「ハンセン病の向こう側」他4種 	<ul style="list-style-type: none"> ◆イベント等の参加者数 目標:300人 実績:388人 	現状維持	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。	
食育推進事業 【健康づくり課】	第2次枚方市食育推進計画(計画期間:H25～H29)の推進 小学5年生及び15歳以下の子どもを持つ保護者を対象とした「ひらかた食育Q&A」の配付 「枚方市食育推進ネットワーク会議」と連携し、ひらかた食育カーニバルを開催	<ul style="list-style-type: none"> ◆「第3次枚方市食育推進計画」に基づく食育啓発 ①「ひらかた食育Q&A(改定版)」の配付(幼児用・小学生用・中高生用・大人用) 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校や、市主催の講座にて配付 配付数 12,700冊 ②「食育リーフレット」の配付 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校、各地域への回覧や、市関連施設等で配付 配付数 40,000部 ③「食育カレンダー」の配付 市内の小中学校の各教室分と、保育所(園)、幼稚園等に各1枚掲示できるよう配付 配付数 1,100枚 ◆ひらかた食育カーニバル オンライン開催(講演会は集客型で開催) 令和5年2月1日～2月28日 (令和5年1月19日よりプレオープン) 期間限定の特設サイトに各団体が作成したコンテンツを掲載。講演会を実施し、後日オンデマンド配信。 サイト閲覧者数:3,293人 サイト閲覧数:19,009回 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「第4次枚方市食育推進計画」に基づく食育啓発 ①食育の日・食育月間SNS発信 発信回数:12回 ②枚方キッチン(広報ひらかたへの健康レシピ掲載) 掲載回数:12回(うち6回はおいしい給食課が担当) ③各種食育リーフレットの配布 配布数:5,000部 ◆第17回ひらかた食育カーニバル 市内各地での参加型イベントの開催及びオンライン開催 令和7年2月1日～2月28日 (令和7年1月19日よりプレオープン) サイト閲覧者数(実人数):1,036人 サイト閲覧数:4,303回 参加型イベント参加者数:2,823人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひらかた食育カーニバルでの各イベント・講座の参加者数 目標:10,000人 実績:7,126人 ◆適正体重を維持している人の割合【スマホアンケートでBMIを算出し、59歳以下はBMI18.5以上25未満、60歳以上はBMI20.1以上25未満の人の割合を合算して算出】 目標:64.1% 実績:64.9% 	拡充	食育カーニバルは令和7年度より通年開催に拡充。1年間通して市内各地で参加型イベントを開催するとともに、食育ポータルサイトを運用していく。	

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
健康づくり推進事業 【健康づくり課】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 15人 フォローアップ研修参加者数 延べ 52人 ◆地区組織活動 参加者数 1,992人 ◆健康増進計画推進事業 「健康のつどい」 YouTube配信・展示会実施 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 564人 達成者数 699人 ◆ウオーキングマップ 120日チャレンジ 達成者数 865人 ◆食育推進 食育カーニバル オンライン開催(講演会は集客型で開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 13人 フォローアップ研修参加者数 延べ 68人 ◆地区組織活動 参加者数 2,206人 ◆健康増進計画推進事業 「健康のつどい」 展示会実施 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 969人 トライアル月間 参加者数 551人 達成者数 1,724人 ◆120日チャレンジ 達成者数 1,724人 ◆食育推進 第17回ひらかた食育カーニバル 市内各地での参加型イベントの開催及びオンライン開催 令和7年2月1日～2月28日 (令和7年1月19日よりプレオープン) サイト閲覧者数(実人数):1,036人 サイト閲覧数:4,303回 参加型イベント参加者数:2,823人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一日の歩数が8,000歩未満の割合【スマホアンケートで1日の平均歩数が8,000歩未満と回答した人の割合で算出】 目標:77.5% 実績:77.7% ◆健康づくりに関する教室・講演会・健康相談者数 目標:25,000人 実績:15,820人 ◆適正体重を維持している人の割合【スマホアンケートでBMIを算出し、59歳以下はBMI18.5以上25未満、60歳以上はBMI20.1以上25未満の人の割合を合算して算出】 目標:64.1% 実績:64.9% 	拡充	食育カーニバルは通年開催に拡充	
介護予防普及啓発事業 【健康づくり課】	介護予防に関する知識を普及啓発するためのパンフレット等の配布、「高齢者健康づくりプロジェクト」「元気アップ総合講座などの健康や生きがいづくりのための講座などを開催	<p>[主な啓発事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆介護予防のためのご近所運動教室 ①開催回数 104回 ②参加者数 1,474人 ◆高齢者健康づくりプロジェクト ①開催回数 1回 ②参加者数 34人 ◆介護予防健康教育・健康相談 健康教育 ①開催回数 53回 ②参加者数 1,123人 ◆健康相談 ①開催回数 486回 ②参加者数 720人 ◆高齢者元気はつらつ健康づくり事業 ①開催回数 45回 ②参加人数 706人 ◆地域元気づくり教室 ①開催回数 7回 ②参加人数 113人 ◆生涯現役地域づくり事業 ①開催回数 0回 ②参加者数 0人 ◆運動機能向上等の介護予防普及啓発事業 ①開催回数 126回 ②参加者数 2,893人 ◆ひらかた元気くらわんか体操普及啓発事業 ①開催回数 53回 ②参加者数 781人 ◆ひらかた夢かなえるエクササイズ教室 ①開催回数 225回 ②参加者数 4,237人 ◆ここから介護予防教室 ①開催回数 21回 ②参加者数 189人 	<p>[主な啓発事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆介護予防のためのご近所運動教室 ①開催回数 108回 ②参加者数 1,495人 ◆高齢者健康づくりプロジェクト ①開催回数 1回 ②参加者数 50人 ◆高齢者元気はつらつ健康づくり事業 ①開催回数 50回 ②参加人数 728人 ◆地域元気づくり教室 ①開催回数 13回 ②参加人数 223人 ◆生涯現役地域づくり事業 ①開催回数 1回 ②参加者数 46人 ◆運動機能向上等の介護予防普及啓発事業 ①開催回数 145回 ②参加者数 3,023人 ◆ひらかた元気くらわんか体操普及啓発事業 ①開催回数 45回 ②参加者数 744人 ◆ひらかた夢かなえるエクササイズ教室 ①開催回数 234回 ②参加者数 7,705人 ◆ここから介護予防教室 ①開催回数 480回 ②参加者数 5,769人 ◆健活フェスタ ①開催回数 1回 ②参加者数 1,468人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数 目標:1,500人 実績:1,468人 ◆「健活フェスタ」の参加者で、健康意識が向上した者の割合 目標:80% 実績:81% ◆ご近所運動教室の参加者数 目標:1,458人 実績:1,495人 ◆教室で学んだことを日常生活の中で活用できると考える者の割合 目標:95% 実績:94% ◆ここから介護予防教室の参加者数 目標:6,120人 実績:5,769人 	現状維持	【ご近所運動教室、ここから介護予防教室】R6年度の取り組みを継続する。 【ひらかた健活フェスタ】趣味活動の発表を中心に、社会参加と介護予防の取り組みを周知していく。 【運動機能向上等の介護予防普及啓発事業(ノルディック・ウォーキング講座)】参加者の安全面を考慮し、夏季は講座の開催時間を変更し、事業を実施する。	

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度					R6年度
ひきこもり等子ども・若者相談支援事業 【まるっと子どもセンター】	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」などにより、ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者の社会的自立に向けた総合的な支援の推進	◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み ①子ども・若者支援のための市民講座「経験者からのメッセージ」 会場参加者数 24人 動画申込者数 94人 動画視聴回数 157回 ②サポートフレンド養成講座(全3回) 参加者数 35名 ボランティア登録者数 28名	◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み ①子ども・若者支援のための市民講座「ゲームやネットとのほどよいつきあい方～思春期・青年期の子ども・若者がみている世界を知ろう～」 会場参加者数 29人 動画申込者数 105人 動画視聴回数 124回 ②ひきこもり女子会 in OSAKA 3市 参加者 第一部 36人・第二部 23人	—	現状維持	引き続き、支援が必要な子ども・若者とその家族への継続的な相談支援に取り組む。市民への周知・啓発において、関係機関と連携して若い世代に支援情報が届けられるようなイベントと、長期化・高齢化しているケースに支援情報が届けられる講座を企画するなど、年代やテーマを工夫した取り組みを行う。	
自然保護啓発事業 【環境政策課】	都市に残された自然環境や市域に生息する動植物を守るとともに、人と自然が共生する環境づくりを推進	◆自然観察会の開催 ①「水辺の楽校」天野川 参加者 73人 ②「セミの抜け殻調査と自然工作」山田池公園 参加者数 35人 ③「葉っぱの観察と工作」サブリ村野 参加者数 25人 ④「山田池公園昆虫教室」山田池公園 参加者数 50人 ⑤「葉っぱや木の実でナチュラルアート」山田池公園 参加者数 32人 ◆講演会の開催 ①自然環境を考える講演会 サブリ村野 参加者数 30人	◆自然観察会の開催 ①「水辺の楽校」天野川 参加者 57人 ②「ビオトープ観察と自然工作」サブリ村野 参加者数 32人 ③「秋の穂谷昆虫教室」野外活動センター 参加者数 36人 ④「葉っぱの観察と工作」サブリ村野 参加者数 32人 ⑤「冬の天の川自然観察会」サブリ村野 参加者数 22人 ◆講演会の開催 ①自然環境を考える講演会 サブリ村野 参加者数 39人	◆自然観察会などに参加したことにより、自然環境に関心を持ち、環境保全意識の高まりにより「自然を大切にしよう」と思った人の割合【算出方法:アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人の数/アンケート回答数×100】 目標:100% 実績:95%	現状維持	今後も、市民が自然環境と触れ合う機会を設け自然を身近に感じてもらうことで、自然環境への慈しみや環境保全意識の高揚を図る。	
ごみ減量化啓発事業 【循環型社会推進課】	家庭ごみ減量のための「4R」の普及・啓発を基本に、ごみ問題についての関心や理解を深めるためごみ減量講演会やごみ減量フェア等を開催	◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発 ①生ごみ堆肥化の促進 ②環境学習の実施 ・小学校35校・中学校2校・幼稚園等29園 ③「リユース拡充(ジモティー掲示)」、「台所ごみ水切り」、「食べのこサンデー」等啓発 ・約 16,000人 ④マイボトル利用促進のため、庁舎や清掃施設内(出先機関含む)に給水スポット(給水機)を設置 ・生涯学習市民センター6か所に設置 ・令和5年9月～12月の間、給水スポット実証実験を市関連4施設で実施 ⑤「ひらかた夢工房」市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを実施 ・生ごみ堆肥化講習会 23人の参加 ・施設見学(枚方支援学校)64人 ⑥小・中学生による環境ポスターコンクールを実施 ・409点の応募 ⑦環境フェスタ ひらエコまつり(旧 ごみ減量フェア) ・11月5日(日)開催(約2,000人来場) ⑧ごみ減量講演会『福島の今を語る人～食品ロスをぶっ飛ばせ～』 ・令和6年1月30日(火)開催 109人参加	◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発 ①環境学習の実施 ・小学校36校・幼稚園等34園 ②「リユース拡充(ジモティー掲示)」、「台所ごみ水切り」「マイボトル・マイカップ持参」 「手つかず食品削減」等啓発 ・約 11,106人 ③「ひらかた夢工房」施設見学 ・枚方支援学校82人・招堤小学校60人 ④サステナブルアワード自由研究 ・リユース自由研究 2件 リユース自由自由工作94件 ⑤環境フェスタ ひらエコまつり(旧 ごみ減量フェア) ・11月3日(日)開催(約3,000人来場)	—	現状維持	今後も取り組みの継続を行うとともに、普及啓発を行う。	
里山保全事業 【農業振興課】	「枚方市里山保全基本計画」に基づき、森林保全や維持管理等の里山保全活動を行う里山ボランティアを育成するため、里山保全や樹木に関する連続講座を実施。	・里山楽校 全8回(講義、実習。)受講生20人のうち修了生19人 ・植物観察会 30人(春 16人・秋 14人)	・里山楽校 全8回(講義、実習。)受講生7人のうち修了生6人 ・植物観察会 27人(春 20人・秋 7人)	◆里山楽校(森林ボランティア育成事業)の修了者数 目標:8人 実績:6人	現状維持	ボランティア育成事業を通して、里山保全の取り組みへの参加者の増加を図り、里山の魅力・癒しを感じてもらえるイベント等を開催していく。	

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
社会教育活動推進事業 (社会教育(人権)講座等(※社会教育(人権講座)) 【教育政策課】	お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供等を行う講座を開催。	◆社会教育(人権)講座等の開催 ①人形劇でところをつなごう 参加者 23組51人	◆社会教育(人権)講座等の開催 ①お隣さんは外国人～外国人とともにある社会～ 参加者 32人	◆アンケートにより「大変よかった」「よかった」であったと回答した割合【算出式:「大変よかった」「よかった」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:85%	現状維持	今後も様々なテーマの講座を開催し、引き続き講座の周知に努める。	
社会教育活動推進事業 (社会教育基礎講座) 【教育政策課】	人が地域で生活するために必要な基礎的な知識や技術を習得する機会の提供を行う講座を開催	◆社会教育基礎講座の開催 ①人生100年時代のライフプランと資産運用① 参加者 29人 ②人生100年時代のライフプランと資産運用② 参加者 25人 ③子育て世代のためのマネープラン～将来のために備えよう～ 参加者 32人	◆社会教育基礎講座の開催 ①熱中症に気をつけて 参加者 38人 ②明日の健康につながる毎日の習慣～口腔ケアは若い頃と同じでいいの?～ 参加者 34人 ③食中毒予防対策は“つけない!ふやさない!やっつける!” 動画再生回数 159回	◆アンケートにより「大変よかった」「よかった」であったと回答した割合【算出式:「大変よかった」「よかった」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:89%	現状維持	今後も様々なテーマの講座を開催し、引き続き講座の周知に努める。	
社会教育活動推進事業 (家庭教育支援事業) 【教育政策課】	自分の子育てを振り返る機会を提供し、「気づき」を促す講座や、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、親子のコミュニケーションの機会を増やす講座を開催	◆家庭教育支援事業 ①親子で参加講座「親子で楽しもう!LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～」 参加者 8組17人 ②思春期セミナー「思春期のいまどきネットトラブル事情～うちの子、大丈夫?後払い決済から闇バイトまで～」 参加者 23人 ③教育講演会「これからの生きる子どもたちにできること～時代を見すえ、備える～」(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 109人 ④子育て応援!親学び講座「守りたい子どもがいるからこそ知っておきたい防災対策&子育て座談会」 参加者 9人 ⑤親を考えるセミナー「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」(人権政策課との共催事業) 参加者 64人 ⑥親子で参加講座「春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～」 参加者 10組28人	◆家庭教育支援事業 ①夏休み親子講座みんなはミライのために!ミライはみんなのために!～子どもと大人のSDGs学習ゲーム「Get The Point」で考えよう～ 参加者 9組18人 ②子育て応援!親学び講座 2回実施 参加者 計19人 ③教育講演会 ～すこやかに生きる～「一緒に成長!ピリママがピリママになるまで」(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 164人 ④思春期・反抗期の子どもとのつき合い方～自己肯定感を育てる7つの関わり～ 参加者 46人 ⑤哲学者と考える「生きる力」～子ども哲学のスヌメ～ 参加者 116人 ⑥おやこで挑戦!紙ひこうき作り～どれだけ飛ばせるかな?～ 参加者 18組37人	◆アンケートにより「大変よかった」「よかった」であったと回答した割合【算出式:「大変よかった」「よかった」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:92%	現状維持	今後も様々なテーマの講座を開催し、引き続き講座の周知に努める。	

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える

③学習機会に対する情報提供の充実

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)				
		R5年度				R6年度
<p>広報ひらかた発行事務 【広報プロモーション課】</p>	<p>多彩な情報を市民にわかりやすく提供し、紙面への市民参加やコミュニティの促進などを図るため、広報紙を月1回及び必要に応じて年4回を限度に特集号・臨時号を発行し、全戸配布。イベントや市政情報などをタイムリーに編集。視覚障害者向けの点字録音広報発行</p>	<p>A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,290,800部</p>	<p>A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,295,200部</p>	<p>◆スマホアンケートで広報ひらかたを読んでいる人の割合 目標:90% 実績:97.9%</p> <p>◆スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合 目標:90% 実績:92.6%</p>	<p>現状維持</p>	<p>引き続き市が力を入れる施策や市の魅力を紹介する紙面づくりを行うとともに、市民生活に直結する重要なお知らせを最優先に紙面構成に取り組み。より効果的・効率的な紙面とするため、レイアウトや各コーナーの見直しも検討する。</p>
<p>ホームページ活用事業 【広報プロモーション課】</p>	<p>様々な市政情報を迅速に提供するため、ホームページシステム(CMS)を活用し、注目情報などトップページの充実を図るとともに、ツイッターによる情報発信を実施</p>	<p>イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数1,597,049件 年間ユーザー数 4,040,033件</p>	<p>イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数 1,055,545件 年間ユーザー数 3,341,540件</p>	<p>◆新規に作成または更新されたホームページ数 目標:1,800 実績:1,889</p> <p>◆市ホームページの年間ユーザー数 目標:3,100,000 実績:3,341,540</p>	<p>現状維持</p>	<p>広報紙では伝えきれない情報の発信媒体としてホームページは重要なツールであり、わかりやすいページ構成や見出しの設定などの工夫や思考が必要である。また、ホームページへの誘導を担う各SNSの情報発信は簡潔でわかりやすい情報発信が必要である。これらのことから、市民等が知りたい情報にたどり着け、また伝わるような情報発信が行えるように、各課への研修等を通じて引き続き改善を進める。</p>
<p>生涯学習事業 【文化生涯学習課】</p>	<p>市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進</p>	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:55,311件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件</p>	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野(牧野北分館を含む。))及びサンプラザ生涯学習市民センターを移転して開館した生涯学習交流センターについて、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:68,052件(内訳) ・一般団体利用 61,060件 ・行政による利用 1,021件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,971件</p>	<p>◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人</p> <p>◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%</p>	<p>現状維持</p>	<p>引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。</p>
<p>生涯学習事業(「なんでも、どこでも出前塾」実施事業) 【文化生涯学習課】</p>	<p>各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。</p>	<p>◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 124件 開催件数 147件</p>	<p>◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 114件 開催件数 119件</p>	<p>◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人</p> <p>◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%</p>	<p>現状維持</p>	<p>引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。</p>

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
環境教育推進事業(再掲) 【環境政策課】	環境教育出前講座を開催するとともに環境白書、環境副読本の発行・配布による環境情報の発信などにより、市民一人ひとりの年齢や社会的役割に応じた多様な環境教育の機会を提供	<p>◆主な環境教育事業</p> <p>①幼児のための環境教育出前講座 開催数 43回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計42園</p> <p>②環境教育、学習プログラムの普及</p> <p>③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供</p> <p>④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付</p>	<p>◆主な環境教育事業</p> <p>①幼児のための環境教育出前講座 開催数 49回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計45園</p> <p>②環境教育、学習プログラムの普及</p> <p>③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供</p> <p>④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付</p>	<p>◆出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合 (算出方法:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけになったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100) 目標:100 実績:100</p>	現状維持	エコライフつうしんぼについては、申込人数に対する提出人数が減少しているため、提出率が上がるよう試みてゆく。	

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える

(2)学びの場(場所)の提供

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)		指標			
		R5年度	R6年度				
サブリ村野NPOセンター施設維持管理事業 【市民活動課】	NPOその他の市民団体に様々な分野における活動の場を提供、及び施設の維持管理	一時利用室(7室)利用件数 4,829件 利用率 49.7% 長期利用室(7室)利用団体 7団体 利用月数 計82月	一時利用室(7室)利用件数 4,801件 利用率 49.6% 長期利用室(7室)利用団体 7団体 利用月数 計76月	◆施設の修繕件数 目標:0件 実績:0件	現状維持	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安全快適に利用できるように、施設の維持管理を行い、安心して使用できる市民活動の場の提供を行う。	
総合文化芸術センター維持管理運営業務 【文化生涯学習課】	市民に文化活動及び生涯にわたる学習活動の場を提供及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 ①本館 大ホール・小ホール・イベントホール 稼働率 76.0% 美術ギャラリー 利用率 88.4% 諸室 利用率 55.4% ②別館 諸室 利用率 39.1% トレーニングルーム 利用者数 6,946人	◆指定管理者制度導入施設 ①本館 大ホール・小ホール・イベントホール 稼働率 75.8% 美術ギャラリー 利用率 90.4% 諸室 利用率 54.3% ②別館 諸室 利用率 41.1% トレーニングルーム 利用者数 7,543人	◆主要施設の利用状況 (大・小・イベントホールと美術ギャラリーの利用率) 目標:80% 実績:83.1% ◆満足度の割合(利用者アンケートより) 【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:94.8% ◆年2回行うモニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価 目標:3 実績:3	現状維持	指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件 (内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野(牧野北分館を含む。))及びサンプラザ生涯学習市民センターを移転して開館した生涯学習交流センターについて、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:68,052件 (内訳) ・一般団体利用 61,060件 ・行政による利用 1,021件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,971件	◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人 ◆満足度(「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100) 目標:80% 実績:88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
生涯学習市民センター維持管理運営業務 【文化生涯学習課】	市民が枚方市立生涯学習市民センターを安全で快適に利用できるよう施設管理を実施	清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行、施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等を実施した。 令和5年度は、市有建築物保全計画に基づき、牧野施設の給水設備工事、津田施設の空調設備改修工事及び給水設備工事、菅原施設の受変電設備改修工事及び昇降機設備更新工事、南部施設の防災設備更新工事を行った。	清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行、施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等を実施した。 令和6年度は、市有建築物保全計画に基づき、牧野北分館の特定天井等工事及び南部生涯学習市民センター外壁改修工事を行った。	◆指定管理施設において年2回各施設毎に行うモニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価 目標:3 実績:3 ◆直営施設において行う保守点検予定回数と実績回数の割合 目標:27 実績:27	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行うとともに、指定管理館においては適切な施設運営がなされているかの確認を行う。改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施しており、施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。	
総合福祉センター維持管理事業 【健康福祉政策課】	高齢者や市民の健康と福祉の増進のために活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数 309日 ①施設専用使用 10,355件 ②個人共用使用利用者数 46,417人	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数 307日 ①施設専用使用 11,066件 ②個人共用使用利用者数 53,564人	◆保守点検や修繕、補修工事の実施回数 目標:2件 実績:1件	現状維持	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるように、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。	

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)		指標			
		R5年度	R6年度				
総合福祉会館維持管理事業 【健康福祉政策課】	市民に福祉活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 348日 温水プール開所日数 104日 ①施設専用使用 4,108件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 11,229人	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 347日 温水プール開所日数 296日 ①施設専用使用 5,725件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 41,746人	◆修繕、補修工事等の実施回数(目標値はR6実績)【予算化した案件のうち執行できた件数】 目標:6件 実績:6件	現状維持	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。また、福祉活動の場を提供していく。	令和7年度においては、ESCO事業による改修工事を行うとともに、次期指定管理者(令和8年度～令和12年度)の選定を行う。
枚方公園青少年センター維持管理事業 【子ども青少年政策課】	青少年に学習と憩いの場を提供、及び施設の維持管理	◆利用件数 ①青少年利用 312件 ②一般団体利用 4,429件 ③行政による利用 390件 ④センター主催・共催利用 509件	◆利用件数 ①青少年利用 521件 ②一般団体利用 4,568件 ③行政による利用 368件 ④センター主催・共催利用 552件	◆施設利用満足度【「満足」「ほぼ満足」の回答者数/施設利用者アンケートの回答者数×100】 目標:90% 実績:90%	現状維持	貸館業務を継続する	
教育文化センター維持管理事業 【教育研修課】	市民に教育活動・文化活動の場を提供及び施設の維持管理	◆一般団体の利用 ①件数 944件 ②利用者数 12,619人	◆一般団体の利用 ①件数 872件 ②利用者数 16,503人	—	現状維持	今後も教職員研修の実施とともに、市民に教育活動・文化活動の場を提供していく。	
総合スポーツセンター維持管理事業 【スポーツ振興課】	市民にスポーツ活動の場を提供。各種スポーツ教室の実施によるスポーツ機会の提供、施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 282,398人	◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 265,580人	◆効果的・効率的な管理運営を行い、施設使用者を増やす。 目標:264,200人 実績:265,580人	現状維持	指定管理施設3施設については、引き続き施設の適正な維持管理を行い、利用者が安心安全快適に施設を利用できる環境を整えることで利用者数の増加を図る。	
野外活動センター維持管理事業 【スポーツ振興課】	各種キャンプ教室や天体観測棟(ステラホール)を活用した天文教室などの実施による、市民が自然と触れ合う機会の提供、施設の維持管理	利用者数: 12,854人	利用者数:11,672人	◆支援を行った小中学校の児童・生徒が学校キャンプに参加する。 目標:20校 実績:23校	見直し	サウンディング型市場調査の結果をとりまとめ、リニューアルに向けた取組を進める。	
市立小中学校及び幼稚園施設開放事業 【新しい学校推進課】	市民の身近な文化・スポーツ・地域活動の場として、学校園の教育及び施設の管理運営に支障のない範囲で小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等を開放。 土曜・日曜・祝日の8時～17時に市立小学校の体育施設を各小学校区の体育施設開放運営委員会のもと開放し、地域住民の利用を促進	◆小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等の開放 年間利用者数:865,559人	◆小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等の開放 年間利用者数:821,554人	◆年間利用者数 目標:800,000人 実績:821,554人	見直し	利用者が固定化傾向にあることや学校の負担軽減などの課題解決に向けて取り組みを進めるとともに、施設利用における受益者負担の徴収についても併せて検討する。	
中央図書館運営事業 【中央図書館】	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供	◆中央図書館 ①貸出冊数 722,554冊 ②予約受付件数 61,547件 ③延べ利用者数 303,908人 ④団体貸出 214団体 30,645冊 ⑤実利用者 56,894人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆中央図書館 ①貸出冊数 747,380冊 ②予約受付件数 66,611件 ③延べ利用者数 327,733人 ④団体貸出 232団体 31,345冊 ⑤実利用者 59,830人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆中央図書館の来館者数 目標:398,000人 実績:455,624人 ◆図書館サービスに関する窓口アンケート 【満足」「やや満足」と回答した人の人数/回答者数×100】 目標:80% 実績:83%	現状維持	引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。イベントなど、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討・実施していく。	

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)		指標			
		R5年度	R6年度				
図書館分館運営事業 【中央図書館】	図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供	◆分館 ①貸出冊数 2,635,567冊 ②予約受付件数 597,057件 ③延べ利用者数 1,355,616人 ④団体貸出 384団体 29,071冊 ⑤実利用者 56,894人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分館 ①貸出冊数 2,972,430冊 ②予約受付件数 660,915件 ③延べ利用者数 1,577,368人 ④団体貸出 392団体 31,198冊 ⑤実利用者 56,830人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分館の来館者数 目標:1,392,000人 実績:1,670,665人 ◆図書館サービスに関する窓口アンケート 【満足」「やや満足」と回答した人の人数/回答者数×100】 目標:80% 実績:78%	現状維持	◆図書館サービスにおける地域の拠点として、図書館資料の貸出、レファレンスサービス等を引き続き提供する。 ◆指定管理者による管理運営のため、モニタリング等を通じ、適正な管理・運営が行われているかの把握に努める。 ◆中央図書館・市駅前図書館に続き、ICタグシムを導入するとともに、予約図書受取コーナーを設置する。	
図書館分室運営事業 【中央図書館】	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供	◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 469,840冊 ②予約件数 162,588件 ③延べ利用者数 249,843人 ④団体貸出 70団体 4,976冊 ⑤実利用者 56,894人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 383,536冊 ②予約件数 122,337件 ③延べ利用者数 205,302人 ④団体貸出 57団体 2,761冊 ⑤実利用者 56,830人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分室の来館者数 目標:140,000人 実績:111,897人 ◆図書館サービスに関する窓口アンケート 【満足」「やや満足」と回答した人の人数/回答者数×100】 目標:80% 実績:78%	現状維持	◆利用状況、施設状況、効率的な人員配置の検討を進め、効果的な図書館利用促進と市民の満足を図る。 ◆利用者が自身の読書履歴を記憶できる通帳型冊子「ひらかたブックダイアリー」の印字機を設置する。	
旧田中家鋳物民俗資料館維持管理事業 【文化財課】	枚方に古くから残る鋳物の歴史や民具を活用し、枚方の歴史や人々の暮らしについての認識を深め、郷土愛を育てる機会の提供、施設の維持管理	年間開館日数 313日 年間入館者数 6,777人	年間開館日数 306日 年間入館者数 5,443人	-	現状維持	令和6年度事業が好調であったことから、今後の取り組み方針については現状を維持する。引き続き、企画展示やイベントの実施に取り組みむとともに施設の維持管理に努める。	
枚方宿鍵屋資料館維持管理事業 【文化財課】	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について認識を深めるとともに、郷土愛を育てる機会の提供、施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 307日 年間入館者数 8,620人	◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 307日 年間入館者数 11,085人	◆計画的な修繕料・工事請負費に係る当初予算額に対する決算額の割合 目標:100% 実績:60%	現状維持	枚方宿や京街道、淀川舟運の歴史について広く普及啓発するため、枚方宿鍵屋資料館の適正な維持管理事業を継続する。	

2. 学びの成果の活用を支える

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度					R6年度
生涯学習事業(ひらかた人形劇フェスティバル支援事業)(再掲) 【文化生涯学習課】	枚方人形劇連絡会・市・指定管理者の3者で実行委員会を組織・運営する「ひらかた人形劇フェスティバル」を支援	【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・2月10日にプレフェスティバルを開催。参加者数234人 ・3月9・10日にフェスティバルを開催。参加者数2,368人	【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・3月8日にフェスティバルを開催。参加者数1,189人	◆生涯学習事業の参加者数 目標：3,800人 実績：3,817人 ◆満足度(「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100) 目標：80% 実績：88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
市民企画イベント促進事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が企画する、広く市民を対象とする文化芸術に係る事業を実施しようとする団体に対して支援を実施	【実施実績】 ①申請団体数 5団体 ②支援団体数 4団体	【実施実績】 ①申請団体数 4団体 ②支援団体数 4団体	◆支援決定団体が実施した事業数 目標：3 実績：4 ◆各支援事業に対する入場者率(支援決定団体が実施する各事業の目標入場数に対する平均入場者率) 目標：70% 実績：78%	現状維持	応募団体が増加傾向にあることから、これまでの取り組みを継続する。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野(牧野北分館を含む。))及びサンプラザ生涯学習市民センターを移転して開館した生涯学習交流センターについて、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:68,052件(内訳) ・一般団体利用 61,060件 ・行政による利用 1,021件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,971件	◆生涯学習事業の参加者数 目標：3,800人 実績：3,817人 ◆満足度(「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100) 目標：80% 実績：88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
枚方フェスティバル協議会支援事業 【観光交流課】	伝承文化等を生かした市民の自主的な活動を促進し、まちの賑わいを創出するため、枚方まつりなどを開催する「枚方フェスティバル協議会」を支援	①七夕芸芸展(7月7・8日) ②くらわんかフェスティバル(8月20日) 約1,100人 ③枚方まつり(8月26・27日) 約100,000人 ④サブリ村野NPOフェスタ(10月22日)	①蘇れ!!淀川の舟運(3月23～25・31日、4月1・4・6・7日、27～29日、5月2・4・5日) 10月3・4・6・7・10日、12～14・17・18日)939人 ②枚方ふれあいフェスティバル(6月2日)約1,500人 ③七夕芸芸展(7月6・7日) ④くらわんかフェスティバル(8月18日、9月19日) 約1,287人 ⑤枚方まつり(10月2・3日) 約70,000人 ⑥秋祭りふとん太鼓巡行(10月13日) ⑦サブリ村野NPOフェスタ(10月20日) ⑧枚方宿街道菊花祭(10月23日～11月11日)	◆枚方まつりの開催回数 目標：1回 実績：1回 ◆枚方まつりの来場者数 目標：100,000人 実績：70,000人	現状維持	引き続き、開催に係る周知・各種許可申請や広報などの支援を行っていく。	
菊人形支援事業 【観光交流課】	市民による菊人形づくりを支援	①桜まつり 3月25日～4月8日 (枚方市駅コンコース:造花人形1体/桜の木1基) ②七夕まつり 6月26日～7月9日 (京阪市駅コンコース:彦星織姫各1体/牛1頭/機織1台/竹笹2基) ③菊フェスティバル10月25日～11月13日 (枚方市駅コンコース:菊人形3体/別館前:菊人形5体/市民の森:菊人形2体)	①桜まつり 3月25日～4月8日 (枚方市駅コンコース:造花人形1体/桜の木1基) ②七夕まつり 6月28日～7月7日 (京阪市駅コンコース:彦星織姫各1体/竹笹1基) ③菊フェスティバル10月23日～11月11日 (枚方市駅コンコース(10月18日～):菊人形2体/別館前:菊人形5体/市民の森:菊人形2体、顔出し人形2体)	◆市民菊人形展の実施 目標：3回 実績：3回 ◆市民菊人形展の来場者数 目標：16,500人 実績：24,620人	現状維持	高齢化が進み、菊の数が年々減少しているため、菊の数に合わせたイベントを検討する。	

2. 学びの成果の活用を支える

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度					R6年度
消費者等教育啓発事業 【危機管理政策課】	地域における消費者被害未然防止のための情報提供など啓発活動を実施	◆地域啓発リーダーによる啓発紙の配布 各地域において啓発紙「月刊くらしの赤信号」を配布	①消費生活セミナー・消費者教育講演会の開催 ②地域啓発リーダーによる啓発紙の配布	◆相談者の満足度(アンケートによりわかりやすかったと回答した割合)【算出式:アンケートで「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:100% 実績:88%	現状維持	市民の消費者問題に対する意識づけや高揚を図るため、引き続き各種啓発事業に取り組む。	
生涯学習事業(「なんでも、どこでも出前塾」実施事業)(再掲) 【文化生涯学習課】	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 124件 開催件数 147件	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 114件 開催件数 119件	◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人 ◆満足度(「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100) 目標:80% 実績:88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
健康づくり推進事業(再掲) 【健康づくり課】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成講座参加者数 延 64人 フォローアップ研修参加者数 延べ 85人 ◆地区組織活動 参加者数 2,140人	◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成講座参加者数 延 83人 フォローアップ研修参加者数 延べ 68人 ◆地区組織活動 参加者数 2,206人	◆一日の歩数が8,000歩未満の割合【スマホアンケートで1日の平均歩数が8,000歩未満と回答した人の割合で算出】 目標:77.5% 実績:77.7% ◆健康づくりに関する教室・講演会・健康相談者数 目標:25,000人 実績:15,820人 ◆適正体重を維持している人の割合【スマホアンケートでBMIを算出し、59歳以下はBMI18.5以上25未満、60歳以上はBMI20.1以上25未満の人の割合を合算して算出】 目標:64.1% 実績:64.9%	見直し	令和7年度より地区組織活動の体制を見直しして実施している。	

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
認知症総合支援事業 【健康福祉政策課】	認知症を正しく理解し見守る認知症サポーターを養成	◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 69回 ②養成人数 1,881人	◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 39回 ②養成人数 1,310人	◆認知症サポーター養成人数(累計) 目標:30,039人 実績:30,039人	現状維持	引き続き認知症サポーターを養成し、認知症に関して周知啓発を行う。	

生涯学習推進基本指針進捗状況

3. つながりを支える

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)				
		R5年度				R6年度
広報ひらかた発行事務 【広報プロモーション課】(再掲)	多彩な情報を市民にわかりやすく提供し、紙面への市民参加やコミュニティの促進などを図るため、広報紙を月1回及び必要に応じて年4回を限度に特集号・臨時号を発行し、全戸配布。イベントや市政情報などをタイムリーに編集。視覚障害者向けの点字録音広報発行	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,289,200部	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,295,200部	◆スマホアンケートで広報ひらかたを読んでいる人の割合 目標:90% 実績:97.9% ◆スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合 目標:90% 実績:92.6%	現状維持 引き続き市が力を入れる施策や市の魅力を紹介する紙面づくりを行うとともに、市民生活に直結する重要なお知らせを最優先に紙面構成に取り組み。より効果的・効率的な紙面とするため、レイアウトや各コーナーの見直しも検討する。	
生涯学習市民センター活動委員会事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市内各生涯学習市民センターで市民と行政が協働(活動委員会)で生涯学習事業を実施	子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①子育て広場 6回 69人 ②親だけトークの会 11回 35人 ③うつ病情報交流会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ57人	子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①親だけトークの会 11回 60人 ②うつ病情報交流会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ76人	◆活動委員会事業の参加者延べ人数 目標:15,000人 実績:18,432人 ◆事業への参加率(参加者人数/募集人数×100) 目標:80% 実績:94.9%	現状維持 今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特徴・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特徴を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特徴・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特徴を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野(牧野北分館を含む。))及びサンプラザ生涯学習市民センターを移転して開館した生涯学習交流センターについて、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:68,052件(内訳) ・一般団体利用 61,060件 ・行政による利用 1,021件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,971件	◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人 ◆満足度(「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100) 目標:80% 実績:88%	現状維持 引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
地域子育て支援拠点事業 【私立保育幼稚園課】	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、健やかな育ちを促進	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:49,256人	◆子育て支援拠点 13ヶ所 4私立保育所(園)、3公立保育所、3(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:63,140人	—	拡充 新たに東部地域の長尾保育園と中部地域の枚方たんぼ保育園の2カ所を開設し、引き続き地域の子育て支援機能の充実を図る。	

生涯学習推進基本指針進捗状況

3. つながりを支える

主な事務事業	事業内容				今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)		指標			
		R5年度	R6年度				
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般団体利用 57,051件 行政による利用 1,330件 センターの主催や共催などによる利用 6,114件 	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野(牧野北分館を含む。))及びサンプラザ生涯学習市民センターを移転して開館した生涯学習交流センターについて、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:68,052件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般団体利用 61,060件 行政による利用 1,021件 センターの主催や共催などによる利用 5,971件 	<p>◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人</p> <p>◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%</p>	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
ひらかた市民大学開催事業(再掲) 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学との連携・協力により、特色ある各大学の専門知識等を生かして学習できる講座を市民に提供	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施。令和4年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 19人 ②大阪歯科大学 30人 ③関西外国語大学 62人 ④大阪工業大学 23人 ⑤摂南大学 48人	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施令和6年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 105人 ②大阪歯科大学 42人 ③関西外国語大学 17人 ④大阪工業大学 34人 ⑤摂南大学 33人	<p>◆「ひらかた市民大学」の参加者数 目標:200人 実績:269人</p> <p>◆満足度【「満足」「やや満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:98%</p>	現状維持	より多くの市民が参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。	
子ども大学探検隊事業 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学と連携し、市内の小学生を対象に大学での学習体験を実施	小学生向け「子ども大学探検隊」を開催。令和5年度は、希望のあった市内5大学で開催。 ◆開催大学と参加者数 ①大阪歯科大学 18人 ②関西外国語大学 32人 ③関西医科大学 22人 ④摂南大学 13人 ⑤大阪工業大学 113人	小学生向け「子ども大学探検隊」を開催。令和5年度は、希望のあった市内5大学で開催。 ◆開催大学と参加者数 ①大阪歯科大学 18人 ②関西外国語大学 30人 ③関西医科大学 19人 ④摂南大学 16人 ⑤大阪工業大学 134人	<p>◆「子ども大学探検隊」の参加者数 目標:250人 実績:217人</p> <p>◆満足度【「満足」「やや満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:100%</p>	現状維持	より多くの市民が参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。	
生涯学習事業(ひらかた人形劇フェスティバル支援事業)(再掲) 【文化生涯学習課】	枚方人形劇連絡会・市・指定管理者の3者で実行委員会を組織・運営する「ひらかた人形劇フェスティバル」を支援	<p>【開催目的】 市内内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと</p> <p>【事業内容】 ・2月10日にプレフェスティバルを開催。参加者数234人 ・3月9・10日にフェスティバルを開催。参加者数2,368人</p>	<p>【開催目的】 市内内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと</p> <p>【事業内容】 ・3月8日にフェスティバルを開催。参加者数1,189人</p>	<p>◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人</p> <p>◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%</p>	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
新産業創出事業(地域活性化支援センター運営事業(産学公連携関係)) 【商工振興課】	市内経済の活性化を図るため、地域の企業、大学、市、ひらかた地域産業クラスター研究会などの連携により、フォーラムを開催	<p>◆産学公連携フォーラム</p> <p>①開催日 2023年12月2日(土)</p> <p>②参加人数 89人</p> <p>③開催場所 枚方市立地域活性化支援センター</p> <p>④テーマ 共創の舞台！2025大阪・関西万博と産学公連携の未来</p> <p>・基調講演「中小企業もいっちゃかみできる？2025年大阪・関西万博への関わり方」</p> <p>・パネルディスカッション「地域一体型オープンファクトリーを経験して」</p> <p>・事例発表、事業報告</p> <p>(1)不器用FACTORY2023開催報告</p> <p>(2)没入型バーチャル工場見学の実証実験</p> <p>(3)トレーディングカードを活用した共創の実現</p> <p>・映像展示PR</p> <p>・研究発表 イノベーション大賞の研究発表と表彰</p>	<p>◆産学公連携フォーラム</p> <p>①開催日 2024年12月7日(土)</p> <p>②参加人数 74人</p> <p>③開催場所 枚方市立地域活性化支援センター</p> <p>④テーマ 共創の可能性を探る！産学公連携の新たなステージへ-未来を共に創る場、ここから始まる産学公連携-</p> <p>・基調講演① 「共創の実現に向けた第一歩:連携の場について考える」</p> <p>・基調講演② 「GARAGEMINATOの取り組みについて」</p> <p>・開催報告① 「不器用FACTORY2024開催報告」</p> <p>・事例発表① 課題解決を進めるための「現場主導による業務プロセスの可視化」とその活用</p> <p>・事例発表② 交流が生むイノベーション「地域企業をつなぐひらたの未来」</p> <p>・映像展示PR</p> <p>・研究発表 イノベーション大賞の研究発表と表彰</p>	<p>◆産学公連携の取り組み経験の変化</p> <p>【産学公連携の取り組み経験があると回答した回答率】</p> <p>目標:40%</p> <p>実績:38%</p>	現状維持	参加者の固定化や新たな参加者の開拓が不十分であることから、裾野拡大や多様な交流機会の創出を推進するため、フォーラムの開催場所や開催方法の見直しを検討する。	
社会教育活動推進事業(社会教育「人権」講座等) 【教育政策課】	多文化共生の環境づくりの推進として、日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方を対象に、日本語の学習の場を提供することを目的とした「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」を開催	<p>【開催実績】</p> <p>①楠葉 87回 参加延べ人数 392人</p> <p>②サンブラザ 87回 参加延べ人数 361人</p> <p>③さだ 86回 参加延べ人数 307人</p> <p>④牧野 130回 参加延べ人数 333人</p> <p>⑤津田 86回 参加延べ人数 217人</p> <p>⑥菅原 83回 参加延べ人数 285人</p> <p>合計 559回 参加延べ人数 1,895人</p>	<p>【開催実績】</p> <p>①楠葉 88回 参加者 延べ613人</p> <p>②サンブラザ/市駅前 86回 参加者 延べ432人</p> <p>③さだ 85回 参加者 延べ195人</p> <p>④牧野 130回 参加者 延べ342人</p> <p>⑤津田 87回 参加者 延べ349人</p> <p>⑥菅原 88回 参加者 延べ235人</p> <p>合計 564回 参加者 延べ2,166人</p>	—	現状維持	枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」について、日常生活において日本語の読み書きや会話に困っている方に活用いただけるよう、引き続き事業の周知に努める。	
国際交流推進事業 【観光交流課】	国際交流活動への支援・促進、海外諸都市との友好交流、国際理解に関する講座、市民と在住外国人との交流等、国際交流推進に係る事業を実施する。	<p>①中華人民共和国上海市長寧区 上海市長寧区児童書画展:令和6年2月3日～8日 市民訪問団の派遣:【実施せず】</p> <p>②オーストラリア連邦クイーンズランド州ローガン市 中学生友好交流訪問団の派遣:【実施せず】</p> <p>③大韓民国全羅南道靈岩郡 行政訪問団の派遣:令和6年3月27・28日 (博士王仁まつり) 霊岩郡行政訪問団の受入れ:令和5年11月3日</p> <p>④日本語ボランティア養成講座:令和6年1月9日～2月27日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 国際交流推進ルーム)</p> <p>⑤日本語ボランティアステップアップ講座:令和6年3月1、8、15日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 国際交流推進ルーム)</p> <p>⑥外国人のための1日相談会:令和6年2月18日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 国際交流推進ルーム)</p> <p>⑦職員向け国際理解講座:令和6年2月27日 (枚方市役所 第3分館 第3会議室)</p> <p>⑧市民向け国際理解講座:令和6年3月15日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 視聴覚室)</p>	<p>①中華人民共和国上海市長寧区 行政訪問の受入れ:令和6年4月22日 上海市長寧区児童書画展:令和7年2月1日～6日</p> <p>②オーストラリア連邦クイーンズランド州ローガン市 中学生友好交流訪問団の派遣:【実施せず】</p> <p>③大韓民国全羅南道靈岩郡 行政訪問団の派遣:令和7年3月28日～29日の予定だったが延期 (博士王仁まつり) 霊岩郡行政訪問団の受入れ:令和6年11月3日</p> <p>④日本語ボランティア養成講座:令和7年1月8日～2月26日 (総合文化芸術センター別館5階 第7会議室)</p> <p>⑤日本語ボランティアステップアップ講座:令和7年3月5、12、19日 (総合文化芸術センター別館5階 第7会議室)</p> <p>⑥外国人のための1日相談会:令和6年11月24日 (枚方市役所 庁舎第3分館 1階)</p> <p>⑦職員向け国際理解講座:令和7年1月27日 (枚方市役所 第3分館 第3会議室)</p> <p>⑧市民向け国際理解講座:令和7年3月19日 (総合文化芸術センター 別館 大会議室)</p>	<p>◆相談会での相談件数 目標:5件 実績:7件</p> <p>◆講座への延べ参加人数 目標:86人 実績:166人</p> <p>◆海外友好都市との交流事業の参加者数 目標:1,034人 実績:1,326人</p> <p>◆市民対象事業参加者の国際化に対する意識調査 目標:48% 実績:89%</p>	現状維持	外国人市民の急増に伴い、行政における対応の重要性は一層高まっている。今後も、市民の理解を深める取り組みを引き続き実施していく。	

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)				
		R5年度				R6年度
生涯学習事業(朝鮮語教室運営事業) (再掲)【文化生涯学習課】	ハングルの学習を通じて、隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流を推進	【開催実績】 ①参加延べ人数 955人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)	【開催実績】 ①参加延べ人数 714人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター/生涯学習交流センター ③開催回数 40回(年間)	◆満足度【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:88%	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。
健康・医療・福祉フェスティバル開催事業 【健康福祉政策課】	医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催	【イベント開催実績】 ①開催日時 令和5年10月22日(日)午前10時～午後3時30分 ②開催場所 ラポールひらかた ③主催 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会(枚方市医師会・枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・枚方市社会福祉協議会・枚方市) ④内容 各健康測定・相談コーナー、こども薬剤師体験やフッ素塗布、ひらかた万博「バーチャルスポーツ体験」などの体験コーナー、ウォーキングイベント、豪華景品ガラガラ抽選会、体験型講座「ストレッチ教室」、模擬店など ⑤参加者数 延べ6,684人 【実行委員会開催実績】 イベント開催に向けて全3回の実行委員会を開催。	【イベント開催実績】 ①開催日時 令和6年10月27日(日)午前10時～午後3時30分 ②開催場所 ラポールひらかた、枚方市総合文化芸術センター施設前広場 ③主催 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会(枚方市医師会・枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・枚方市社会福祉協議会・枚方市) ④内容 各健康測定・相談コーナー、こども薬剤師体験やフッ素塗布、ひらかた万博「バーチャルスポーツ体験」などの体験コーナー、ウォーキングイベント、豪華景品ガラガラ抽選会、体験型講座「整形外医が伝える心を身体のセルフケア」、模擬店など ⑤参加者数 延べ8,058人 【実行委員会開催実績】 イベント開催に向けて全3回の実行委員会を開催。	◆参加者数(延べ人数) 目標:8,100人 実績:8,058人	現状維持	引き続き、健康に関する意識を高められるようイベント内容を充実し、SNS等を活用して周知を行う。
健康医療都市ひらかた推進事業 【健康福祉政策課】	行政、団体、大学、病院で構成する「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、市民の健康増進や地域医療のさらなる充実をめざし、連携事業を展開	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 11,601人	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 11,601人	◆連携事業への市民等の参加者数 目標:12,000人 実績:15,865人	現状維持	引き続き、健康に関する意識を高められるようイベント内容を充実し、SNS等を活用して周知を行う。
重層的支援体制整備事業(コミュニティソーシャルワーカー配置(多機関協働等)事業) 【健康福祉総合相談課】	地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを実施	◆いきいきネット相談支援センター 市内2ヵ所に福祉に関する地域相談員を配置 (「ラポールひらかた」内枚方市社会福祉協議会と「社協ルファルひらかた」の2拠点に集約し、エリアに関わらず相談が可能となった。) ◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施 ◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整 ◆重層的支援体制を活用し、複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり 令和5年度はのべ9,469件の相談を受付けた。	◆いきいきネット相談支援センター 「ラポールひらかた」内枚方市社会福祉協議会、「社協ルファルひらかた」および健康福祉総合相談課内に福祉に関する地域相談員を配置 ◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施 ◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整 ◆重層的支援体制を活用し、複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり 令和6年度はのべ9,729件の相談を受付けた。	◆CSW延べ相談件数 目標:9,598件 実績:9,729件	拡充	福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど福祉に関する相談に充分に対応できるようCSWの増員を図る(令和7年度1名増員実績あり)

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R5年度	R6年度				
健康づくり推進事業(再掲) 【健康づくり課】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康フェア 大学健康フェア 参加者数 419人 その他健康フェア 参加者数 988人 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 590人 ウォーキングマップ 達成者数 963人 120日チャレンジ 達成者数 1,593人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康フェア 大学健康フェア 参加者数 449人 その他健康フェア 参加者数 685人 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 969人 トライアル月間 参加者数 551人 120日チャレンジ 達成者数 1,724人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一日の歩数が8,000歩未満の割合【スマホアンケートで1日の平均歩数が8,000歩未満と回答した人の割合で算出】 目標:77.5% 実績:77.7% ◆健康づくりに関する教室・講演会・健康相談者数 目標:25,000人 実績:15,820人 ◆適正体重を維持している人の割合【スマホアンケートでBMIを算出し、59歳以下はBMI18.5以上25未満、60歳以上はBMI20.1以上25未満の人の割合を合算して算出】 目標:64.1% 実績:64.9% 	現状維持	120日チャレンジの歩数を「一日8000歩」とし適正歩数を提示 大学フェアについては学校側の意向を踏まえて啓発内容を検討	
「まなびング」サポート事業 【教育指導課】	小中学校において、学習指導等をサポートする大学生等を配置することにより、児童・生徒の学ぶ機会を充実	授業や放課後の時間に、教員を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援 【開催実績】 ①実施場所 市立小中学校63校中44校 ②活動人数 137名	授業や放課後の時間に、教員を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援 【開催実績】 ①実施場所 市立小中学校63校中48校 ②活動人数 135名	◆全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率【算出式: 枚方市の平均正答率/全国の平均正答率×100】 目標:101.0% 実績:102.3%	現状維持	支援内容を充実させるためにはボランティア参加者数を増やしていく必要があることから、関西外国語大学との連携など近隣大学にもボランティア派遣を要請していく。 ボランティア確保に係る募集案内等について、小・中学校を通じて広く地域に共有できる仕組みづくりを進めていく。	
部活動指導協力者派遣事業 【教育指導課】	中学校部活動の活性化や充実、及び顧問教員の生徒指導や授業研究の時間確保のため、専門的な知識や技能を有する指導協力者を派遣	市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣 【派遣実績】 ①実施場所 市立中学校全19校 ②派遣した回数 延べ 4,861回	市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣 【派遣実績】 ①実施場所 市立中学校全19校 ②派遣した回数 延べ 5,463回	◆顧問教員負担軽減時間数(=部活動指導協力者活動時間数)【算出式:活用回数×2時間】 目標:13,300時間 実績:10,926時間	現状維持	各学校園における本制度の活用回数の過不足のない配分等を継続していく。	
学校支援社会人等指導者活用事業 【教育指導課】	学校園において、優れた知識や技能を有する多様な人材を活用することにより、学校園と地域の連携を深め、幼児・児童・生徒の学習意欲や将来への夢をはぐくむ。	学校支援社会人等指導者による各教科における学習支援や本の読み聞かせやストーリーテリング、菊の栽培、環境教育等の指導 【開催実績】 ①実施場所 市立学校園69校園中65校園 ②実施回数 1,654.5回	学校支援社会人等指導者による各教科における学習支援や本の読み聞かせやストーリーテリング、菊の栽培、環境教育等の指導 【開催実績】 ①実施場所 市立学校園69校園中64校園 ②実施回数 1,639.0回	◆全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に対する児童の肯定的な回答の割合【算出式:全国学力・学習状況調査集計】 目標:78.7% 実績:80.8%	現状維持	各学校園における本制度の活用回数の過不足のない配分等を継続していく。	
子どもの居場所づくり補助事業 【子ども青少年政策課】	家で一人で食事をとる等の環境にある子どもに対し「食事の提供」を通じて居場所づくりに取り組む団体(NPO団体、地域団体等)に対し、運営経費などを支援。	◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 21団体(トライアル1団体含む) ②延べ開催回数 378回(トライアル1回含む) ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 38.1人	◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 28団体(トライアル1団体含む) ②延べ開催回数 522回(トライアル5回含む) ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 45.2人	◆参加した子どもにおける事業の満足度【参加した子どもにおける事業の満足度】 満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数×100 目標:100% 実績:94.1%	現状維持	今後も新規団体の参入など子ども食堂に関する活動が活発化することが予想されるため、企業版ふるさと納税制度の活用などの財源確保の取り組みを進めるほか、実施団体に対する補助金助成以外の支援の検討を行うなど、引き続き、実施団体の運営支援に取り組む。	

生涯学習推進基本指針進捗状況

3. つながりを支える

主な事務事業	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R5年度					R6年度
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 先行導入している2施設(蹠蹠・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠蹠・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般団体利用 57,051件 行政による利用 1,330件 センターの主催や共催などによる利用 6,114件 	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠蹠・牧野(牧野北分館を含む。))及びサンプラザ生涯学習市民センターを移転して開館した生涯学習交流センターについて、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:68,052件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般団体利用 61,060件 行政による利用 1,021件 センターの主催や共催などによる利用 5,971件 	<p>◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,800人 実績:3,817人</p> <p>◆満足度(「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100) 目標:80% 実績:88%</p>	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	
地域子育て支援拠点事業(再掲) 【私立保育幼稚園課】	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、健やかな育ちを促進	<p>◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内)</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談 地域の子育て関連情報の提供 講習等 <p>◆年間利用親子数:49,256人</p>	<p>◆子育て支援拠点 13ヶ所 4私立保育所(園)、3公立保育所、3(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内)</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談 地域の子育て関連情報の提供 講習等 <p>◆年間利用親子数:63,140人</p>	—	拡充	新たに東部地域の長尾保育園と中部地域の枚方たんぼ保育園の2カ所で開催し、引き続き地域の子育て支援機能の充実を図る。	
枚方子どもいきいき広場補助事業 【放課後子ども課】	地域の主体的な取り組みとして、これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的に、小学校で児童健全育成事業を実施する団体に対し支援	<p>◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付</p> <p>①実施日数 1校区 平均 29.86日 ②参加児童数 延べ34,505人 ③参加ボランティア等数 延べ13,152人</p>	<p>◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付</p> <p>①実施日数 1校区 平均 29.59日 ②参加児童数 延べ35,268人 ③参加ボランティア等数 延べ12,736人</p>	<p>◆補助金の交付団体数 目標:44 実績:44</p> <p>◆参加した子どもにおける事業の満足度【算出式:アンケート調査で「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:94.1%</p>	現状維持	これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を生かしたプログラムを児童健全育成事業として引き続き実施する。また、後継者の育成や担い手不足、提供するプログラムの固定化などの課題に対し、今後も市内44校全校で継続して実施できるよう地域の実情に応じて支援していく。	
社会教育活動推進事業(家庭教育支援事業)(再掲) 【教育政策課】	自分の子育てを振り返る機会を提供し、「気づき」を促す講座や、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、親子のコミュニケーションの機会を増やす講座を開催	<p>◆家庭教育支援事業</p> <p>①夏休み親子講座「おみせやさんごっこ」で学ぶ『お金』のこと 参加者 15組33人 ②子育て応援! 親学び講座 3回実施 参加者 計26人 ③教育講演「子どもを育てる」大人から「子どもが育つ」大人へ～変化の時代を生きる～(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 116人 ④ストレスマネジメント～思春期の子どもに向き合うために～ 参加者 26人 ⑤春休み親子で楽しむ「燃料電池実験教室」 参加者 8組18人 ⑥「ねえこのほんよんで～乳幼児期の読み聞かせで育む、子どもの未来～」 参加者 33人</p>	<p>◆家庭教育支援事業</p> <p>①夏休み親子講座みんなはミライのために! ミライはみんなのために! ～子どもと大人のSDGs学習ゲーム「Get The Point」で考えよう～ 参加者 9組18人 ②子育て応援! 親学び講座 2回実施 参加者 計19人 ③教育講演会 ～すこやかに生きる～「一緒に成長! ビリママがビリママになるまで」(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 164人 ④思春期・反抗期の子どもとのつき合い方～自己肯定感を育てる7つの関わり～ 参加者 46人 ⑤哲学者と考える「生きる力」～子ども哲学のスズメ～ 参加者 116人 ⑥おやこで挑戦! 紙ひこうき作り～どれだけ飛ばせるかな?～ 参加者 18組37人</p>	<p>◆アンケートにより「大変よかった」「よかった」であったと回答した割合【算出式:「大変よかった」「よかった」と回答した人数/回答者人数×100】 目標:80% 実績:92%</p>	現状維持	今後も様々なテーマの講座を開催し、引き続き講座の周知に努める。	
中央図書館運営事業(再掲) 【中央図書館】	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供	<p>◆主な子ども読書活動推進事業</p> <p>①読み聞かせボランティア養成講座…講座(3回) 延べ参加人数 71人 実践(5回) 延べ参加人数 58人 ②子ども読書活動等推進ボランティアスキルアップ研修会 延べ参加人数 50人 ③読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 18団体 456人</p>	<p>◆主な子ども読書活動推進事業</p> <p>①子ども読書活動等推進ボランティア研修会及び交流会 延べ参加人数 63人 ②読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 16団体 309人</p>	—	現状維持	「読み聞かせボランティア養成講座」、「子ども読書活動等推進ボランティア研修会」は隔年実施予定	